土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　平成30年度 二級河川 瀬野川水系 三谷川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　砂防 砂防

ボーリング名	B-3-No.5	**調査位置**	広島県安芸郡熊野町初神地内（三谷川激特堰堤）			**北緯**	34° 21′ 59.3784″
発注機関	広島県西部建設事務所			**調査期間**	2021年 6月 30日 ～ 2021年 7月 1日	**東経**	132° 35′ 24.4162″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	T.P. 286.83m	**角度**	180° 上下 90° 0° 0°	**方位**	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 46°	**使用機種**	**試錐機**	東邦地下工業 D1-C48	
総削孔長	5.00m								**エンジン**	ヤンマー NFD-12	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1	286.03	0.80		礫混じり砂		褐灰			新生代第四紀	二次マサ堆積物である。礫分は最大30mm程度である。細礫分が多い。砂分は粗砂が主体をなしている。	
	285.03	1.80		玉石混じり砂礫		黄褐灰	rd3			褐色を混じえ，少しの細粒分を伴うようになる。玉石分はコア長5～8cmで採取される。その他の礫分はφ30mm程度以下である。マトリクスは細粒分を伴った粗砂～細礫からなる。	
2	284.83	2.00		強風化花崗岩		橙灰					
3				強風化花崗岩		褐灰			中生代白亜紀	花崗岩の強風化部（軟岩I）。砂～細礫状コア。指圧で崩すのに少し強い力を要する。DH級。	
						白灰				花崗岩の風化部（軟岩I）。2.65mまでは風化色が強く，コア肌が粗い，完全に分離には至っていない円盤状のコアが主体をなしている。岩片は軟質である。2.65m以深，短柱状コアが主体となる。不均質に風化し，虫食い状に風化の強まる箇所がある。岩片は軟質という程ではないが，脆い印象が強い。割れ目沿いは強く砕片化する。4m付近より新鮮度が高まる。CL級。	
4	282.48	4.35									
5	281.83	5.00		弱風化花崗岩		白灰				花崗岩の弱風化部（軟岩II）。コア長15cm以上の柱状コアからなる。コア肌は少し滑らかだが，潜在的なクラックが多い。割れ目沿いは角礫状と化している。CM級。	
6											

標準貫入試験 深度－N値図 (0 10 20 30 40 50)	N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
	29	1.15	11	9	9	29/300		
		1.45	50/20			50/20		
	750	2.00					20	
		2.02				50/0		
		3.00	貫入不能					
		3.00				50/0		
		4.00	貫入不能					
		4.00				50/0		
		5.00	貫入不能					
		5.00						

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					6/30
					7/1